

甲府市協働のまちづくり

第4期推進行動計画を策定しました

将来像

人を育み、人をつなぎ、
希望ある未来を創り続けるまち 甲府



▲懇話会の様子 第4期推進行動計画はこちらから▶



みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

本市は、これまでの協働の取組を踏まえつつ、時代の変化に合わせて更なる発展を図るため、『第4期協働のまちづくり推進行動計画』を策定しました。

本計画では、協働に関わる人材の育成と※主体間の連携促進を図るとともに、地域を支える多様な主体を育成し持続可能な地域活動を実現します。

将来像は、「人を育み、人をつなぎ、希望ある未来を創り続けるまち 甲府」とし、4つの施策の柱をもとに、5つの基本施策と13の具体的な取組を位置付け、さらなる協働のまちづくりの推進に向け様々な取組を実施していきます。

新たな取組としては、デジタル技術を活用することにより、地域活動の負担を軽減する「地域活動のデジタル化の推進」です。身近なデジタルツールを活用した連絡調整や情報共有をはじめ、様々な業務をデジタル化することにより多様な市民が参加できる体制を整備し、持続可能な地域コミュニティの形成を目指します。

※_主体：市民、市民活動団体、教育機関、事業者、市

『地域活動のデジタル化』でのお困りごととはご相談ください

協働支援センターでは地域活動のデジタル化を推進するため、パソコン講座やスマホ講座など、地域で活躍する人材を支援する取り組みを行っています。地域活動のデジタル化に向けてお困りごとがありましたら協働支援センターまでご相談ください。



協働のまちづくり研修会を開催しました



▲「協働のまちづくり研修会」の様子

令和8年2月に『令和7年度 協働のまちづくり研修会』を開催し、自治会関係者74名の皆様にご参加いただきました。

研修会は、「自治会活動のデジタル化」をテーマとし、外部講師を招き、自治会活動の現状や課題を整理するとともに、デジタル技術を活用した取組事例の紹介を行いました。

また、スマートフォンを使用し、LINEオープンチャットの作成やセキュリティ設定などの基本操作について、実践的な研修を行いました。

参加者からは、「思っていた以上に簡単だった」、「自治会運営に取り入れてみたい」、「若年層の参加促進につながりそう」といった声が多く寄せられ、デジタル化への関心の高さと有効性がうかがえました。

協働推進課では今後も、自治会の皆様のご意見やご要望を伺いながら、講座の開催などを通じて自治会活動のデジタル化を支援してまいります。



協働のまちづくりコーディネーター育成講座

地域の「旗振り役」を育成し、多様な主体との協働について考える



協働推進課では、地域主体のまちづくりを推進するため、1月から2月にかけて全4回の『協働のまちづくりコーディネーター育成講座』を開催しました。

本講座は、地域課題を共有し、自治会をはじめ、企業、学校などをつなぎながら、協働による地域課題の解決を進める「コーディネーター」を育成することを目的に実施したものです。

参加した受講者の皆さんは、講義やワークショップを通じて、地域活動に必要な知識やコーディネートの手法について学びました。今後、地域活動の担い手や「旗振り役」として、それぞれの地域での活躍が期待されます。

協働推進課では今後も、こうした学びの機会を通じて、住民の皆さんが主体となった地域活動や、多様な主体との協働によるまちづくりを支援してまいります。

地域活動とあつ活サポーター

中道地区 七覚自治会

たけのご祭り

中道地区の七覚自治会では、『たけのご祭り』が開催され、会場では、たけのこの販売や試食会のほか、地元で採れた新鮮な野菜や山菜の販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

七覚自治会では、耕作放棄地の活用に取り組んでおり、今回提供されたたけのこは、その活動の中で整備した竹林から収穫されたものです。地域課題への取組が、地域資源の活用や地域交流の創出につなげるなど、地域主体によるまちづくりが実践されています。

また、運営には「たけのご倶楽部」をはじめ、消防団や女性部など様々な団体が参加し、世代を超えた協力のもと開催されました。様々な団体が連携することで、地域のつながりが深まり、次世代へ伝統文化の継承にもつながる機会となりました。



▲地域で採れたたけのこは大好評



▲お子様からご年配の方まで楽しめるイベントとなりました

石田地区 自治会連合会

石田お俵連 桜まつり

石田地区自治会連合会主催による恒例行事『石田お俵連 桜まつり』が開催されました。会場には多くの屋台やキッチンカーが並び、家族連れをはじめ幅広い世代の地域住民で賑わいました。

また、あつ活サポーター団体である「すみよし生活支援センター」が昨年に続きアニマルセラピーを実施しました。




▲あつ活サポーター団体によるアニマルセラピーの様子

会場は、セラピードックとして活躍する「マルコくん」と来場者とのふれあいにより、温かな雰囲気にも包まれ、癒しの時間となりました。

地域イベントに様々な団体が参加することで、お祭りの魅力や賑わいがより一層高まるとともに、世代を超えた交流や支え合いの輪が生まれました。

あつ活サポーターの利用申込はこちら

『あつ活サポーター団体登録制度』のご利用を受け付けております。持続可能な自治会運営を行えるよう、本制度をご活用ください。



詳しくは協働支援センターまでお電話いただくかホームページをご覧ください ▲